

## 株主メモ

【事業年度】	【郵便物の送付先または連絡先】
毎年11月1日から翌年10月31日まで	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話照会先 ☎0120-782-031
【定時株主総会】	※株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は上記の電話照会先にご連絡下さい。 ※特別口座について 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といたします。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。
毎年1月	【株式に関するお手続きのホームページURL】
【基準日】	http://www.smtb.jp/personal/agency/
毎年10月31日	【公告方法】
【株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関】	電子公告によって(電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して)行います。
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
【株主名簿管理人事務取扱場所】	
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	

## IRページのご案内

当社では、月次売上速報や決算短信などをホームページ(<http://www.his.co.jp>)で公開しております。最新情報を適時掲載しておりますので、ご利用下さい。

## 株主様ご優待のお知らせ

毎年4月及び10月の末日現在において、株主名簿に記録のある100株以上の株式を所有されている株主の皆様にご優待券をお送りいたします。今回お送りする株主優待券及びハウステンボスご入場割引券は来年(平成27年)の1月31日までご利用になれます。

### 【株主優待券】

当社、株式会社クオリタ及び株式会社クルーズプラネットの商品にご利用いただける株主優待券です。



100株以上 …… 2枚  
500株以上 …… 4枚  
1,000株以上 …… 6枚

ご利用にあたっては、ご予約された営業所にご持参またはご郵送下さい。また、当社の商品券「SKY」と併用してご利用することもできます。

## 単元未満株式の買取及び買増制度

単元未満株式(100株未満の株式)をご所有の場合、当社に対して買取請求(売却する)及び買増請求(買増して1単元の株式(100株)にする)ができます。お手続きの詳細は、上記の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせ下さい。(証券会社に株式を記録されている場合は、お取引の証券会社にお問い合わせ下さい。)

### 【ハウステンボスご入場割引券】

ハウステンボス株式会社が運営いたしますハウステンボス(長崎県佐世保市)のご入場割引券です。



100株以上 …… 1枚  
100株以上の株式を所有されている株主様に一律1枚お送りいたします。

ご利用にあたっては、ハウステンボス料金所で入場券をご購入される際に本券をご提出下さい。ハウステンボス料金所での購入時のみ利用可となっております。

## 株主・投資家の皆様へ

# H.I.S. Business Report

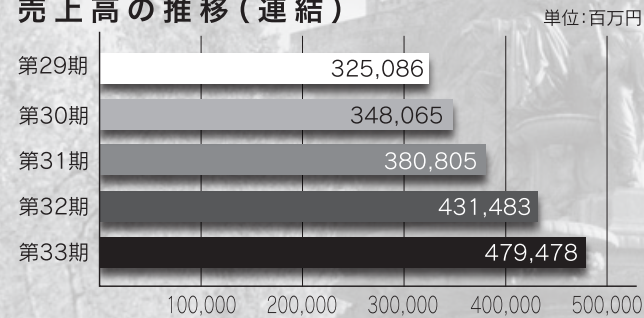
第33期(平成24年11月1日から平成25年10月31日まで)

## Contents

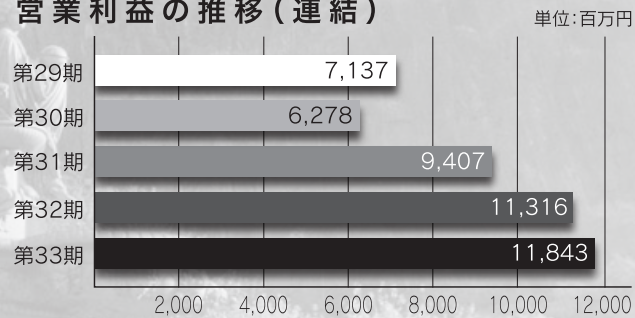
連結財務ハイライト	1
株主の皆様へ	2
トピックス	3
連結財務諸表	9
株式の状況／会社概要	10

## Financial Highlights

### 売上高の推移(連結)



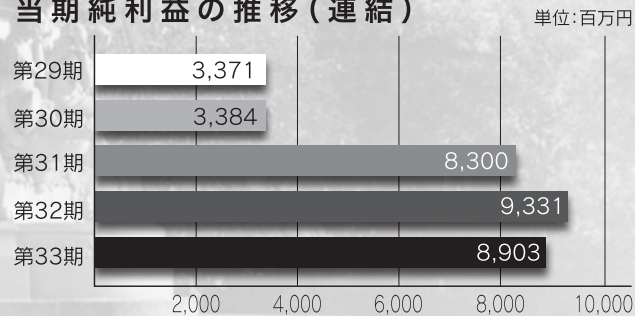
### 営業利益の推移(連結)



### 経常利益の推移(連結)



### 当期純利益の推移(連結)



## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

皆様にH.I.S. Business Report(平成24年11月1日から平成25年10月31日まで)をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、一連の経済政策の効果などにより、緩やかな景気回復の兆しがみられました。旅行市場環境は、景気改善による個人消費の持ち直しやシニア世代における旅行意欲の高まりなどプラス要因があったものの、海外旅行需要においては、外交問題や急激な為替変動などが大きく影響し、前期水準まで回復するには至りませんでした。日本政府観光局(JNTO)による平成24年11月から平成25年10月にかけての日本人出国者数(推計値)は、約1,745万6千人(前期比6.0%減)の見込みとなっております。国内旅行需要においては、LCCの浸透・路線拡充、沖縄市場の拡大や富士山の世界文化遺産登録などを背景に順調に推移いたしました。また、訪日外国人旅行需要につきましては、タイなど東南アジア諸国の査証条件の緩和や円安基調などを背景に、前期を大幅に上回り、訪日外国人人数(同推計値)は、約1千万人(同22.8%増)と、過去最高を記録する見込みです。

このような経営環境の中で、当社グループは、主力のセグメントであります旅行事業、その他各事業ともに「安全」と「安心」、「サービス」と「品質」の向上に努めつつ、事業を拡大していくためのオリジナリティ溢れる各種施策を展開いたしました。主な取り組みにつきましては、本書3ページ以降にTopicsとして記載させていただいているとおりでございます。

以上のような各施策を展開した結果、当連結会計年度の連結業績は、売上高4,794億78百万円(前期比111.1%)、営業利益118億43百万円(同104.7%)、経常利益152億3百万円(同112.8%)と過去最高の業績となりました。当期純利益につきましては、ハウステンボス株式会社の繰越欠損金がほぼ解消したため税金費用が増加し89億3百万円(同95.4%)となりました。

世界経済を取り巻く環境は引き続き不透明ではありますが、

旅行業界においては、空港発着枠の増加に伴う新規就航・路線拡大やシニア世代における旅行機運のいっそうの高まりなどを背景に旅行需要は堅調に推移すると予想されます。その一方で、直販化が進む航空会社も含めた国内外における競争の激化など市場の変化を見据えた対応がより必要になると予想されます。

このような環境の中、当社グループは主力セグメントであります旅行事業において、安全と安心、サービスと品質の向上に一層努めてまいります。また、新たな自由旅行市場を探索すると共に、クルーズ旅行への挑戦やチャーター便の積極活用など、顧客ニーズに敏感に対応し、世界市場において独自性のある商品とサービスを創出し、日本発、海外発の旅行事業を拡大、発展させていくための各種施策にスピードを持って取り組みます。さらに、各販売チャネルの特性を意識した営業展開や媒体特性を見極めたプロモーションなど、生産性や効率性を意識した展開を継続し、業績の更なる向上を図ってまいります。

ハウステンボス株式会社では、今後も「～第二幕～“光の王国”3つの新しい光の世界」の開催(平成25年11月2日～平成26年3月30日)など、ハウステンボスでしか体験できないオンリーワンのイベントを実施してまいります。また、新劇場「ミュージズホール」(平成26年1月11日オープン)の誕生や、園外での施策である「大阪城3Dマッピング スーパーイルミネーション」(平成25年12月14日～平成26年2月16日)を開催するなど、新たな展開を進めてまいります。

株主の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしますと共に、今後とも当社グループをご愛顧賜り、一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成26年1月

代表取締役社長 平林 朗



### 新たな旅行商品やサービスの展開



▲チャータークルーズ

貸切鑑賞プラン▶

◀「シニア割」ロゴ

カジュアル客船「コスタビクトリア号」を利用したチャータークルーズ商品(春3回・夏秋6回)、「サグラダファミリア」など人気施設の貸切鑑賞プランを組み入れた商品など、独自の旅行商品造成に取り組みました。また、新たなサービス施策としては、60歳以上のお客様のご旅行を応援する「シニア割」を導入したほか、成田・羽田空港においてチェックイン等のサポートを行う専属アシスタントサービス「エアポートアシスタント」を開始しました。

### 営業拠点の拡充



◀クイックカウンター  
イオンモール佐野

▲横浜本店

▲新宿本店グランドサロン

生産効率を重視した営業展開を図り、ショッピングセンターを中心に新たな営業拠点を設けたほか、大型旗艦店を東京・新宿三丁目と神奈川・横浜にオープンいたしました。また、海外ウェディング専門店におきましても、更なる市場拡大を見据え、新宿本店グランドサロン、鹿児島、福井、岡山にオープンするなど、より多くのお客様にご利用いただけるよう店舗網を拡充しました。

### 法人団体旅行の展開



▲大型団体旅行

ホノルル駅伝▶

団体旅行の取り組みにつきましては、茨城、栃木、表参道に拠点を設けたほか、新たに大型案件を請負う「インセンティブセクション」を設立するなど受注体制を拡大した結果、大型団体旅行(企業様向け、各種イベント、修学旅行など)の受注が増加し、好調に推移しました。法人旅行(企業出張)の取り組みにおいては、法人契約のグローバル展開を見据えた営業活動、人材育成を実施してまいりました。

### インターネットにおける旅行販売



▲航空券+ホテル

▲ソーシャルネットワークサービスの活用

「航空券+ホテル」予約サイトにおいて、よりリーズナブルな価格設定を実現できるよう仕入強化を行い、掲載商品を拡充したほか、包括料金表示やスマートフォン対応を実施し、お客様の利便性を高める予約サイトの構築に努めました。また、LINEやFacebookなどソーシャルネットワークサービスの活用も積極的に進めてまいりました。

### 日本国内旅行、訪日旅行



▲ 沖縄貸切ビーチ

ゆんたくシャトル ▶

▲ ハウステンボスツアーパンフレット

タイ・訪日旅行 ▶

◀ スマ宿特集

日本国内全店舗にて販売を拡充しております国内旅行事業につきましては、強化方面であります沖縄において、オリジナルシャトル「ゆんたくシャトル(沖縄本島、石垣島)」の運行や、お客様連れ家族旅行への取り組みとして「ドラえもんわくわくビーチ(沖縄本島)」をオープンするなど、当社ならではの現地サービスを実施しました。また、全日空の国内線予約システムの導入を行い、全店舗にて予約・販売を可能にするなど販路の拡大を実施し、国内旅行事業は引き続き好調に推移いたしました。

国内宿泊予約サイト「スマ宿」においては、契約ホテル・旅館数が約9,000軒と拡大し、認知向上や利用者数増に努め、予約サイトの利便性向上を図りました。

訪日旅行につきましては、需要の拡大しているタイなど査証条件が緩和された東南アジア諸国に注力し、各国の海外拠点と連携を図り、訪日旅行者の受入れを強化しました。そして、事業者(ツアーオペレーター)の品質を保証する「ツアーオペレーター品質認証」を取得するなど、事業拡大に向けた取り組みを行ってまいりました。

### 海外における旅行事業の展開



▲ バンコク・サイアム支店

▲ バンコク・トレイン広告

◀ トラベルワンダーランドジャカルタ

▲ オンライン予約サイト「hisgo」

◀ トラベルワンダーランド香港

現地発の旅行手配業務につきましては、東南アジアにおいて多店舗展開を推進し、タイ・バンコクに9拠点、インドネシアにはジャカルタを中心に8拠点(平成25年10月末時点)を展開し、着実に拡充を進め、認知度も向上しております。また、ポルトガルやアイルランドなどヨーロッパ地域にも新たに8拠点をオープンしました。さらには、ネパールなど、未進出国への展開も積極的に行い、海外の営業拠点網は、51カ国、111都市、158拠点(同10月末時点)と拡大しました。各国のお客様へ向けたオンライン予約サイトについても、カンボジア、ラオスにてサービスを開始し、39カ国(同10月末時点)で展開するなど、アジア地域を中心に順調に拡大しております。日本及び各国のお客様の受入業務につきましては、当社グループの海外拠点が有するサービスや設備を、他の旅行会社にもご利用いただけるよう、ホールセールである「BtoB」事業の強化を行いました。また、独自の施策として、バンコク・スワンナプーム空港での「優先入国サービス」やハワイ・ホノルル空港内に専用ラウンジ「LeaLeaラウンジ」開設など、お客様満足の向上にも引き続き努めてまいりました。その他、海外ホテル予約サイト「VACATION」の取扱軒数を約12万軒に拡大させるなど、海外における旅行事業は順調に推移しました。

### ハウステンボスの飛躍



▲水と冒険の王国



夏の光の王国▶



◀世界花火師競技会



▲チューリップ祭

テーマパーク事業を運営するハウステンボス株式会社は、季節ごとの人気シリーズ(光の王国、バラ祭など)を日本一、世界一の規模へとスケールアップし開催するなど、お客様満足の向上に努めてまいりました。夏季においては「水と冒険の王国」(平成25年7月~9月)を開催し、ご家族で夏を楽しんでいただけるよう大規模な屋外プールやウォータースライダーの設置をはじめ、アドベンチャーパークに「メルヘン不思議の森」(同7月)を新設するなど、新たな取り組みも行いました。また、夜も楽しめるイベントとして「新・夏の光の王国」、「世界花火師競技会、スペシャル花火」を開催し、ご好評いただきました。その結果、当連結会計年度の入場者数は247万7千人(前期比129.1%)、売上高205億48百万円(同128.8%)、営業利益50億15百万円(同190.0%)となり、業績は好調に推移いたしました。

地域経済の活性化に貢献できるよう、テーマパーク事業の更なる魅力向上に努めると共にスマートハウスのような環境にも配慮した「観光ビジネス都市」の実現に向けた取り組みを行ってまいります。

スマートハウス▶



### 九州産交グループ



▲九州産交バス

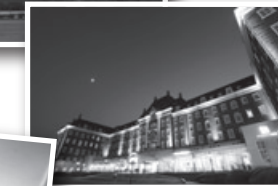


前期にグループ化いたしました九州産交グループにつきましては、主力事業である路線バスにおいて「Wi-Fi」サービスを開始したほか、コミュニティバスを拡充するなどお客様の利便性向上に努めてまいりました。当社グループにおける相乗効果も発揮し業績は順調に推移しました。

### 垂直統合型ビジネスへの挑戦



▲アジアアトランティックエアラインズ



ウォーターマークホテル ▲長崎



◀グアムリーフホテル 客室例

ウォーターマークホテル長崎では、訪日旅行の受入を強化し、順調に推移いたしました。グアムリーフ&オリーブスパリゾートホテルでは、大規模なリニューアル工事を実施し、装いも新たにグランドオープンいたしました。平成24年12月に設立したアジアアトランティックエアラインズは、平成25年8月に成田国際空港~バンコク・スワンナプーム空港線に初就航いたしました。航空機からホテルに至るまでグループ内サービスをご利用いただける「垂直統合型モデル」を推進してまいります。

## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表 (平成25年10月31日現在) (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
<b>流動資産</b>	<b>137,515</b>	<b>流動負債</b>	<b>85,459</b>
現金及び預金	83,211	営業未払金	20,168
売掛金	13,897	旅行前受金	47,398
営業未収入金	6,737	その他	17,892
旅行前払金	21,588	<b>固定負債</b>	<b>39,773</b>
その他	12,080	<b>負債合計</b>	<b>125,233</b>
<b>固定資産</b>	<b>78,324</b>	<b>純資産の部</b>	
有形固定資産	45,511	<b>株主資本</b>	<b>75,800</b>
無形固定資産	4,560	資本金	6,882
投資その他の資産	28,252	資本剰余金	7,782
		利益剰余金	63,664
		自己株式	△2,529
		<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>3,280</b>
<b>繰延資産</b>	<b>74</b>	<b>少数株主持分</b>	<b>11,599</b>
<b>資産合計</b>	<b>215,913</b>	<b>純資産合計</b>	<b>90,680</b>
		<b>負債純資産合計</b>	<b>215,913</b>

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結キャッシュ・フロー計算書 (平成24年11月1日から平成25年10月31日まで) (単位:百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,360
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,975
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,817
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,303
現金及び現金同等物の増加額	23,505
現金及び現金同等物の期首残高	35,821
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	2,099
現金及び現金同等物の期末残高	61,426

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結損益計算書 (平成24年11月1日から平成25年10月31日まで) (単位:百万円)

科目	金額
売上高	479,478
売上原価	397,681
売上総利益	81,797
販売費及び一般管理費	69,953
営業利益	11,843
営業外収益	3,668
営業外費用	308
経常利益	15,203
特別利益	90
特別損失	66
税金等調整前当期純利益	15,226
法人税等	4,036
少数株主損益調整前当期純利益	11,190
少数株主利益	2,287
当期純利益	8,903

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(平成25年10月31日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数	88,551,450 株
発行済株式の総数	34,261,468 株
株主数	8,219 名

### 大株主の状況(上位10名)

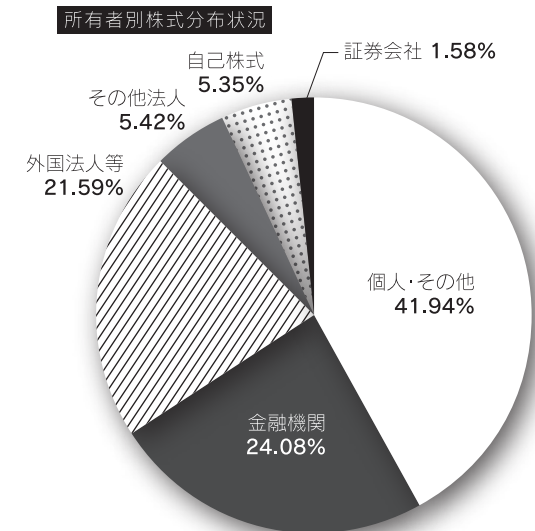
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
澤田 秀雄	9,596	29.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,473	7.62
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,928	5.94
有限会社 秀インター	1,690	5.21
シーピーニューヨーク オービスエスアイシーアーヴィー	810	2.49
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	770	2.37
全国共済農業協同組合連合会	569	1.75
澤田 まゆみ	518	1.59
行方 一正	510	1.57
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	434	1.34

(注)当社は自己株式(1,835,896株)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### 会社概要

商号	株式会社 <b>エイチ・アイ・エス</b>
英文社名	H.I.S.Co.,Ltd.
本店	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
設立	昭和55年12月19日
資本金	68億82百万円
従業員数(連結)	9,026名 (この他に、契約社員、見習社員、アルバイトが在籍しております。)
主要な事業内容	旅行業法に基づく旅行業(観光庁長官登録旅行業第724号)を営んでおり、海外旅行業務及び国内旅行業務、航空券の取次販売、手配旅行、企画旅行及びこれらに伴う現地手配と渡航手続並びに旅行傷害保険の代理業務を行っております。
国内・海外拠点数	国内 278店舗／海外 51カ国 111都市 158拠点
ホームページ	http://www.his-j.com

### 株式分布状況



### 会社役員

代表取締役会長	澤田 秀雄
代表取締役社長	平林 朗
常務取締役	楠原 成基
常務取締役	高木 潔
取締役	和田 光
取締役	中森 達也
取締役	中谷 茂
取締役	ハック アザドゥル
取締役相談役	行方 一正
取締役	平田 雅彦
常勤監査役	三上 幹夫
監査役	梅田 常和
監査役	山本 克

(注)取締役 平田雅彦氏は、社外取締役であります。  
監査役 梅田常和氏及び監査役 山本克氏は、社外監査役であります。  
ハック アザドゥル氏は、平成25年10月31日限りで当社取締役を辞任し、平成25年11月1日以降は、当社の上席執行役員となっております。